

大山寺修復に向けて皆様と大山寺を結ぶ 平成30年11月18日

高藏山・大山寺だより 10号

大山寺旧蔵 足利尊氏開版の 「大般若経」と常楽寺で再会

NPO 法人かもがわ大山寺保存会研修旅行「信州の鎌倉を歩く」が2018年11月15日(木)・16日(金)に行われ、大山寺にあった足利尊氏開版の「大般若経」600巻を所蔵する常楽寺を中心に長野県別所温泉の史跡を訪ねた。この研修旅行は、大山寺旧蔵の「大般若経」がどのようなものかを知るとともに、鴨川で「大般若経」を見る機会が得られるよう常楽寺や別所温泉との交流を深めることが目的。24名が参加した。

常楽寺が美術館を閉館にして用意した足利尊氏開版の「大般若経」の前では、経典を収めた箱を中心に70分に及び質問や意見が飛び交う、熱を帯びた研修となった。また、常楽寺の石造多宝塔をはじめ10箇所の歴史文化遺産を訪ね「信州の鎌倉」の姿に迫った。



常楽寺



安楽寺三重塔(国宝)

安楽寺前の紅葉

千葉県指定有形文化財 木造 不動明王坐像・二童子立像

豪華で、大きな厨子の扉を開くと、かっと見開いた鋭い視線に射抜かれる。上唇の右端を下牙で、下唇の左端を上牙で噛み、眉間に皺を寄せた忿怒相。肅然としているものの逞しさが漲っている。

鎌倉時代後期の作。脇侍の矜羯羅童子、制多迦童子、本尊を安置する厨子と一体で県指定有形文化財。



大山寺本尊の不动明王坐像(高さ87.4cm)と脇侍の矜羯羅童子(向かって右)・制多迦童子立像

大山寺の行事

- 12月1日・2日 もみじ祭り
- 12月31日 大晦日 除夜の鐘
- 2019年元旦 新年修正会 大護摩供法要

今回の研修旅行には、大山地区の方々をはじめとする24名という多くの参加をいただきました。この研修をきっかけとして、ますます大山寺の価値を鴨川市の方々に知っていただければ幸いです。(大山寺住職)